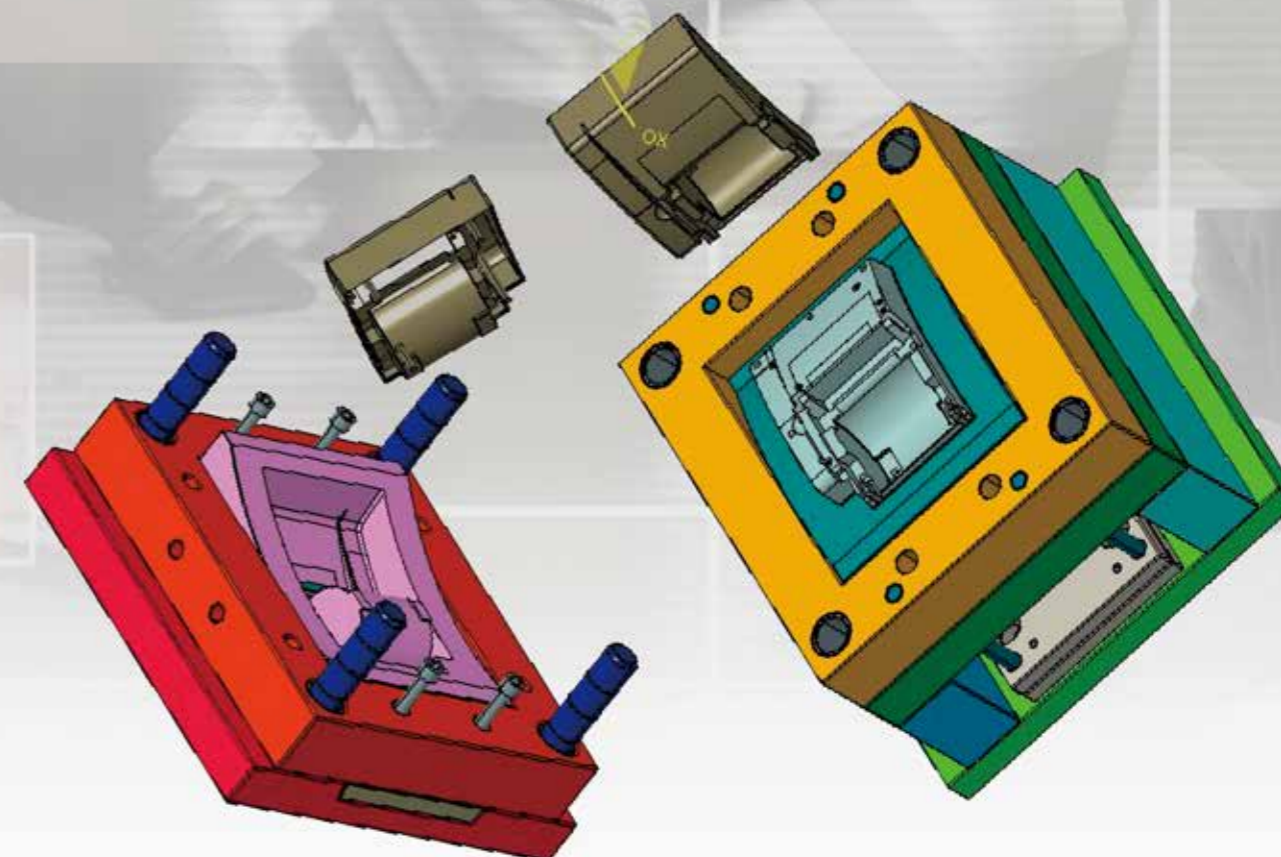




## 3Dモデルと加工データを可視化、 現場アナログ作業の効率向上へ



### ■推奨スペック

OS	: Windows 7/XP Professional/Vista
プロセッサ	: Intel Core i5/i7 (2.6GHz) 以上/AMD Phenom II (2.6GHz) 以上
ハードディスク	: 1GB 以上 (作業スペース含め 100 GB 以上)
メモリ	: 2GB 以上
グラフィックス	: OpenGL対応 グラフィックスカード (ビデオメモリ512MB以上)、NVIDIA Quadro FXシリーズ
モニタ	: 解像度1280×1024以上
マウス	: スクロール・ホイール付 (または3ボタンマウス)

[※ソフトウェアのインストール: CD-ROMドライブまたはWebアクセス(ダウンロード)]

### ■読み込み可能なフォーマット

IGES	DXF
STEP	DWG
STL	VRML
Parasolid	HPGL
CATIA V4	NCデータ (ISO Gコード)
CATIA V5	WorkNCツールパス
NX (Unigraphics)	ポイントファイル
Creo Parametric (Pro/E)	
SolidWorks	
Unisurf	
WorkNC (wnc, crv, ccv, xdw)	

### オプション

CADD5
Solid Edge

### ■出力可能なフォーマット

WorkXPlore 3D形式
WorkXPlore 3Dクライアントビューワ形式
STL
DXF
WorkNC (wnc)
ポイントファイル

### オプション

IGES
STEP

3D Desktop Tools

workxplore  
3D

金型・機械加工現場向け  
3Dコミュニケーションツール

vero Software www.3ds.co.jp/WORKXPlore

開発元: Vero Software

●WORKXPlore3DはVero Softwareの登録商標です。その他の商標は各社の所有物です。  
●製品改良のためお断りなく性能・仕様などを変更する場合があります。ご了承ください。



株式会社 スリー・ディー・エス

〒222-0033  
横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル8F  
TEL.045-478-0578 (代) FAX.045-478-0581  
<http://www.3ds.co.jp>

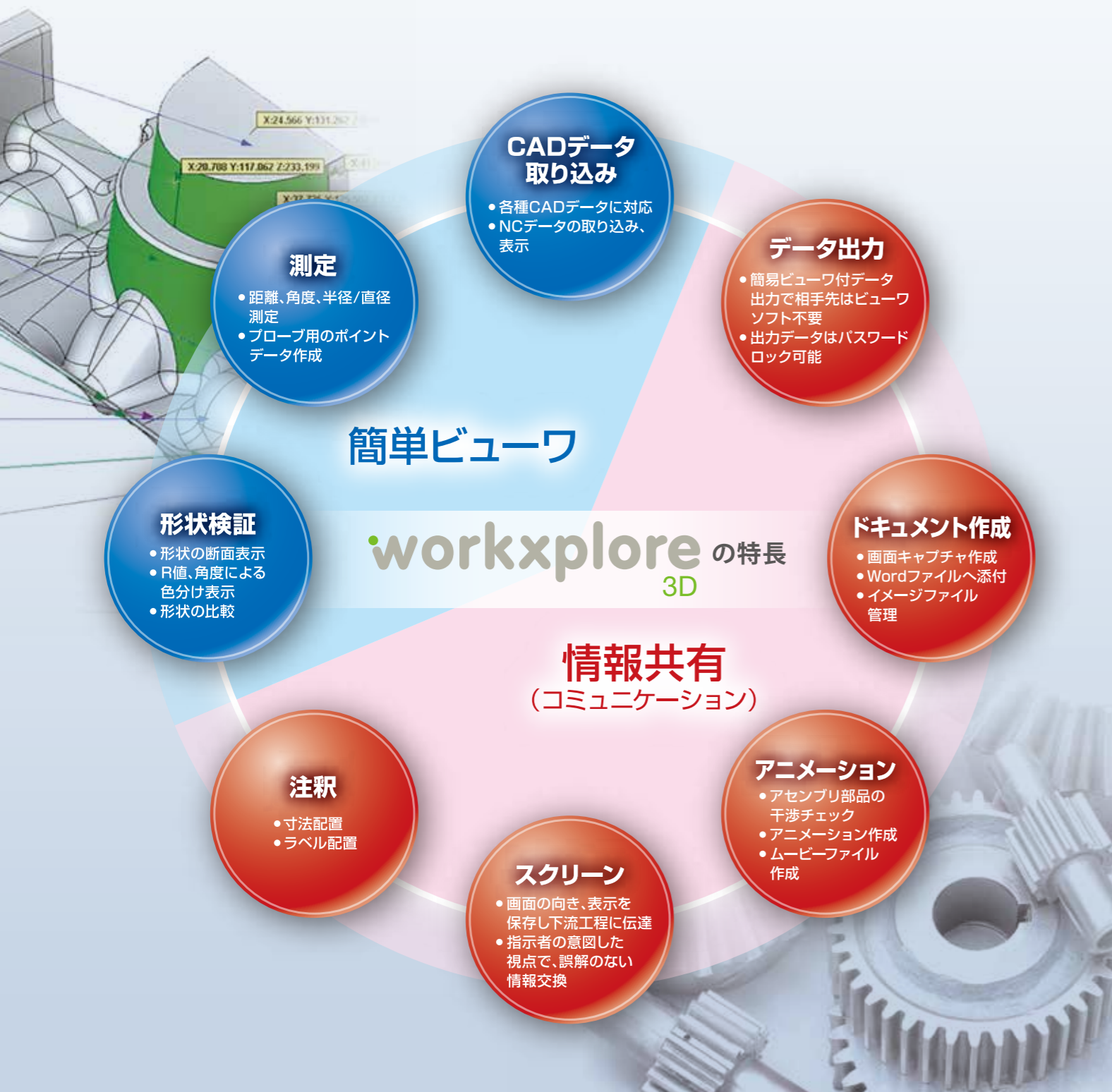


株式会社 スリー・ディー・エス



ビューワ + 情報共有  
||  
ビューワ・コミュニケーター  
workxplore とは?  
3D

workxploreは、3D設計データと加工データを可視化し、  
測定機能や簡易アニメーション機能などによって  
加工現場の意思疎通を円滑にさせる3Dコミュニケーションツールです。



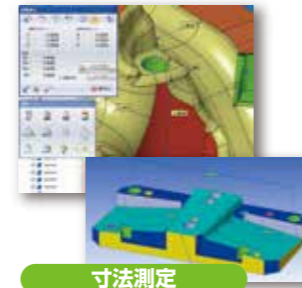
設計・現場・営業など多くの場面で活躍できるビューワ

CADオリジナルデータを利用した  
高速表示・高精度測定・多彩な形状検証機能

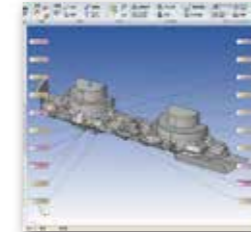
ものづくりのための簡単ビューワ

測定機能

CADモデル寸法の測定に加え、3次元測定用のデータ作成に対応



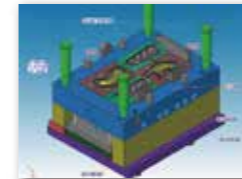
寸法測定



ポイント検証

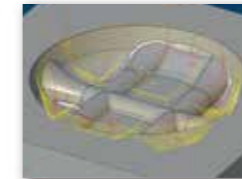
注釈機能

設計変更・指示・注意点などを後工程や取引先への指示が可能



NCデータ表示

加工軌跡をビジュアルに表示し、加工現場で工具の動きをリアルタイムに確認



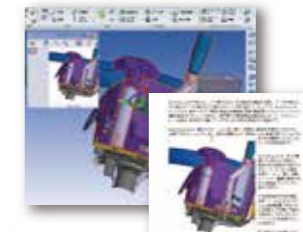
下流工程への確実な情報伝達

コミュニケーション

作業上の注意点、誤解しやすい部分などの情報を共有

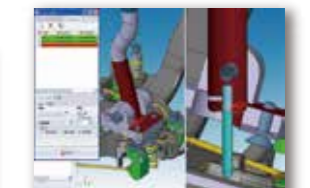


スクリーン



ドキュメント作成

Wordへ画像を挿入し文書伝達



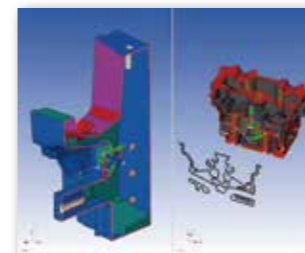
アニメーション・干渉チェック

干渉チェックや組み立て工程のアニメーション化

操作性に優れた形状検証機能

形状検証機能

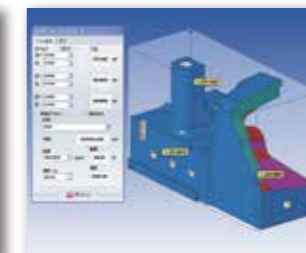
加工検討に必要な多種のモデル情報を素早く確認、素材の原価算出も可能



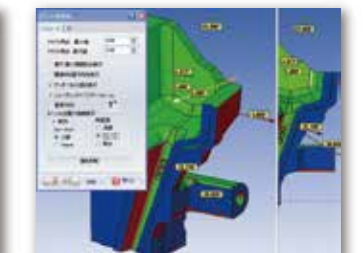
形状断面表示



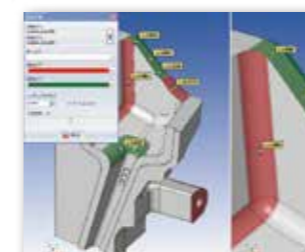
フィレット半径と平面検証



バンダリーボックス



角度・アンダーカット表示



形状比較

STLデータ表示

STLファイルを取り込み、サーフェスのように表示させポイントや境界カーブを認識可能

